

コンクリート委員会 「繊維補強コンクリートの構造利用研究小委員会（第2期）」（3種委員会）
の委員募集
応募締切日：2016年1月29日(金)

コンクリート委員会では、下記の研究小委員会を発足させることになりました。積極的に活動に参加してくださる委員を募集しますので、奮ってご応募下さい。なお、本委員会はコンクリート委員会3種委員会のため、委員会出席のための旅費等は支給されません。

1. 委員会名称

繊維補強コンクリートの構造利用研究小委員会（第2期）（346委員会）

2. 構成

委員長： 内田裕市（岐阜大学）

幹事長： 国枝 稔（岐阜大学）

委 員： 公募による委員

3. 委員会設立の主旨・目的と活動内容

「繊維補強コンクリートの構造利用研究小委員会（第1期）」（346委員会）では、通常の繊維補強コンクリート（FRC）から超高強度繊維補強コンクリート（UFC）および複数微細ひび割れ型繊維補強セメント複合材料（SHCC）を含めたすべての繊維補強セメント複合材（以下、FRCC）を対象として、これらを構造利用するうえでの現状と課題について調査をおこない、FRCCの設計規準のあり方、施工と設計の関連、材料および部材の耐久性、疲労、材料の試験法等について取りまとめました。本委員会はこれらの成果を受け、FRCCを用いた構造物の設計法の確立に資するため、以下の事項についてより具体的に検討する予定です。

(1)力学性能に関する設計の要素技術の検討

安全性（曲げ、せん断、耐震、疲労）、使用性（ひび割れ幅）の照査において、FRCCの特性を如何に取り込むかについて、具体的な照査式を取り上げパラメータの感度解析等を通じて検討します。また、繊維の配向の影響の取り込みについても検討します。

(2)耐久性に関する設計の要素技術の検討

耐久性に関するデータの集積と分析を行うとともに、FRCCの耐久性設計の考え方、および具体的な照査法について検討します。ここではマトリクス中における短繊維自体の耐久性、FRCCとしての耐久性および部材中の鉄筋の腐食を対象とし、特にそれらに及ぼすひび割れの影響について検討します。

(3)特性値を評価するための試験方法に関する検討

設計において必要となる材料の特性値を求めるための試験法について検討します。特に、耐久性関連の特性および繊維の配向に関する試験法を中心に検討します。

なお、これらの検討項目については委員会内の議論によって修正、追加していく予定ですので、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

4. 活動方法

年間数回の委員会およびE-mailによる集中的な審議を通じて活動を行います。2年間の活動を予定しています。

5. 応募の方法

本委員会に委員として参加を希望される方は、氏名、所属、連絡先を明記の上、応募理由、興味のある研究内容または貢献可能な研究内容を簡潔に沿えて、下記連絡先へご連絡下さい。

6. 申込み先, 問合せ先

岐阜大学工学部社会基盤工学科 国枝 稔

TEL/FAX 058-293-2410

E-mail : kunieda@gifu-u.ac.jp

以上